

ご意見募集！

広報誌をより良くしていくために皆様からのご意見を募集しています。ご意見をお送りいただいた方の中から抽選で3名様に日南町の特産品をプレゼントいたします。

送り先：〒689-5292 日南町役場 企画課 広報担当

手紙、はがきに①住所②お名前③電話番号④ご意見・ご感想をご記入の上、企画課まで郵送またはお持ち込みください。皆様からのご意見お待ちしております！（※メールでは受けつけておりませんのでご注意ください。）

今月の
表紙

「遙かなる歴史に思いを馳せ」

6月号は印賀宝篋印塔いんがぼうきょういんとうと、その保存活動を行われている方々をご紹介します。

印賀盆地を見守ってきた標高450メートルの山「八幡山」はちまんやま。印賀宝篋印塔はこの山の上に立っています。

宝篋印塔とは、「宝篋印陀羅尼」ぼうきょういん だらにという呪文を内に収めた供養塔をいい、鎌倉時代中期以降各地に建立されました。

印賀宝篋印塔が建立されたのは正平12（1357）年、南北朝時代の初期で、南朝と北朝が対立していた戦乱の世の中のことです。九州での戦いで南朝側に加勢しようとして印賀の武士200余名も戦場に出陣したものとされます。出陣にあたって武士たちは、生きて再び印賀の地に帰ることはなからうと、自ら死後の冥福を祈ってこの塔を建立したとされています。

塔には以下の文字が刻まれています。



「逆修一日□□妙□十三部供養 己畢 正平十二丁酉十月□日一結集二百余□敬白」

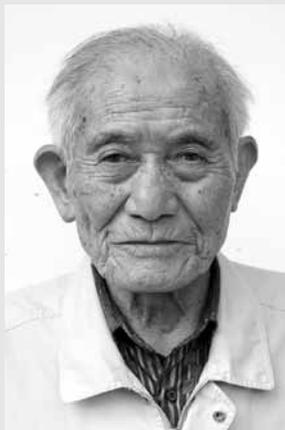
（□は判読できない字）

（「正平十二年、ひのと西とりの十月、二百数余人が法華経を供養し、死を覚悟して出陣する）

印賀宝篋印塔は、宝篋印塔としては形の整った第一級の美しさである上に最古の部類に入り、また銘文を持つことから貴重な歴史遺産であるとして、昭和28年に鳥取県保護文化財に指定されました。

平成3年と平成12年の地震で塔が倒壊し、三重県の専門業者の手で現在の姿に復元されました。その後、地元の有志が声を上げて八幡山公園管理委員会が発足し、公園整備を町に要望しました。要望を受け、八幡山周辺の個人所有地を町が買い取り、平成15年に整備が完了。現在は大宮まちづくり協議会と宝谷シルバークラブが、周辺の草刈りや清掃、花木の手入れなどの管理を行っています。

宝谷シルバークラブ 青戸建一郎さんあおと けんいちろう



山頂に記帳台を設置し、来られた方に感想などを書いてもらうためのノートを置いています。ノートを読むと、県外からも多くの方が来られていることがわかり、うれしく思います。

このような歴史的に貴重なものが近くにあることを誇りに思い、これからも後世に伝えていきたいと思っています。



八幡山からは印賀の美しい田園風景が一望できます。山頂に登るための道は、以前は南側の急な石段の道のみでしたが、北側になだらかな遊歩道も整備されました。

ぜひ一度、身近にある歴史遺産をご覧ください。

